

今年 中学生になるお子さんの

お父さん、お母さん、お祖父ちゃん、お祖母ちゃんへ

利屋町の大法寺

# 高岡の十三参り

十三参りとは、子ども達の元服(中学入学)を祝い、

自らの智慧で力強く生きていく決意を新たにし、

虚空蔵菩薩のご加護と智慧を授かるためのお参りです。



離れて暮している

お孫さんに

故郷を感じてもらおう

機会として



おじいちゃん、おばあちゃんと  
お孫さんが一緒に過ごす  
思い出として

家族の絆を深める  
機会として

新中学生としての決意を、仏さまに誓います。

家族全員で、子どもの元服(中学入学)を祝います。

迷わずに生きていける知恵を、虚空蔵菩薩から授かる儀式です。

【日程】 3月26日(日) 午前10時30分より(10時受付開始)

【会場】 大法寺 本堂  
高岡市利屋町67 電話 0766-23-0115

高岡駅より  
徒歩約15分

【ご祈祷料】 5,000円(お守り、集合写真、お菓子、お弁当含む)

● 参加の服装は自由です(制服でも可)



## 申込用紙

お子様のお名前			
申込者		続柄( )	
住所	〒	電話番号	

お申込みはこちら FAX.0766-23-0125 / 申込締切3月15日

# 高岡の十三参り

中学に入る  
十三歳は  
元服の歳

日本では古来、元服を迎える時、すなわち、これから親の手を離れていく節目に、智慧の仏さまである虚空蔵菩薩にお参りするのが習いでした。

元服は数え年で十三歳であることから、これを十三参りと言いますが、京都などでは今でもこの伝統を守り、十三歳になる子ども達が虚空蔵菩薩のお寺にお参りをしています。

親の手を  
離れても  
しっかりと育て  
いって欲しい

現代では数えで十三という歳が、ちょうど中学生にあがる年齢で、少しずつ親の手を離れ、自分の力で生きて行こうとし始める、芽ばえの時期でもあります。頼もしさとともに、頼りなさも感じる年代で、親としては子ども達があやまった道を進まないよう見守るしかありません。十三参りは、子が少しずつ親の手を離れていっても、健やかに正しく育て欲しいという思いを込めた儀式なのです。

祖父母、  
両親、子どもの  
三代いっしょに  
お参りを

十三参りに参加する子どもは、虚空蔵菩薩に人生の決意を誓うとともに、人生を切り拓いていける智慧を授かり、祖父母、両親、子の三代がともにお参りすることで、これからの人生の安穏と隆昌を祈ります。ぜひ、みなさまの家でも、ご家族全員で、お子さま、お孫さまのこれからの人生を祈るため、十三参りにご参加いただければと思います。

## 十三参りと着物

十三参りにあわせて、初めて大人の寸法の晴れ着を用意し、肩上げをして着て、その後、事あるごとに着せて、身体に馴染ませ、立ち振る舞いを身につけさせていくというのも、日本古来の習わしでした。(参加の服装は自由です)

## 着物で写真を撮ろう!

金屏風を用意しますので、金屏風を背景に、ご家族全員でご自由に記念撮影をさせていただきます。(当日は、プロのカメラマンも呼んでいきますので、撮影をお願いすることもできます)。

着物レンタル・着付けも承ります。

川口貸衣装(申込みは大法寺まで 電話0766-23-0115)

## 誓いの文字

子ども達が、これからの人生の決意をこめた文字をひとつ選び、仏前でその文字を読み上げて誓います。

例 信 努 歩 優 愛  
学 智 和 心 輝 など

